

# 令和3年度第1回千葉市まち・ひと・しごと創生会議 議事要旨

1 日 時 令和3年7月1日（木）13時30分～15時30分

2 場 所 Web開催（議会棟第2説明員控室）

3 参加者 <<委員>>7名

麻畑 紀美子委員、岩崎 久美子委員、大野 克巳委員、鈴木 雅之委員、  
松永 哲也委員、村尾 憲治委員、望月 泰伸委員（五十音順）

<<事務局>>10名

神崎 総合政策局長、堺 総合政策部長、濤岡 政策企画課長、中島 課長補佐、  
吉野 国家戦略特区推進課長、竹田 観光プロモーション課長、渡部 農政課長、  
柴田 農政課主査、坂倉 農政課主任主事、寺尾 政策企画課主査

## 4 議 題

- (1) 地方創生推進交付金事業の取組状況の報告
- (2) 総合戦略に係る2020年度の取組状況の報告
- (3) 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の改訂について
- (4) その他

## 5 議事概要

(1) 地方創生推進交付金事業の取組状況の報告

2020年度に実施した地方創生推進交付金事業の取組結果について、事務局より説明を行った。

(2) 総合戦略に係る2020年度の取組状況の報告

2020年度本市地方創生関連の取組結果について、事務局より説明を行った。

(3) 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の改訂について

令和3年度に予定する千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の改訂の背景やポイントについて、事務局より説明を行い、委員との意見交換を行った。

(4) その他

令和3年度部会スケジュールについて、事務局より説明を行った。

## 6 会議経過

～以下、議事要旨～

## 議題（１）地方創生推進交付金事業の取組状況の報告

（事務局）地方創生推進交付金事業について、資料１をもとに説明を行った。

### <意見交換>

○シェアを活用した市民力によるまちづくり事業 ～共生社会の実現に向けて～

○近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来都市の実現

松 永 委 員 ドローンについて、鉄道跨ぎの実証実験を行ったことは一つの成果であると思うが、横須賀市など他都市では実際に荷物を運ぶ実証実験も進んでいる。そのような流れに遅れないように、引き続き事業を進めていただきたい。

吉野国家戦略特区推進課長 先日、横浜から千葉までの約 50km、ドローンを飛ばす実証実験を行ったところであり、単価が高く嵩張らないものなどは技術的にも運ぶことができると考えている。今後何を運ぶことができるか、また、どういったものが社会の要請を受けているかを含めて検討を進めていきたい。

○観光誘客による市内陸部の地域経済活性化及び農業振興

岩 崎 委 員 アニマルウェルフェアに配慮した牛舎とはどのような観点のものか。日本では、欧州に比べて認識が低いとの記事もあるようだが、千葉市では、先駆的な啓発・取組の推進を意識しているということか。

渡 部 農 政 課 長 新しい牛舎は、牛を狭いスペースに押し込めて育成するのではなく、牛が自由に歩き回れるスペースを持ったものとなっており、牛に配慮した作りになっている。

岩 崎 委 員 動物のための福祉という認識でよいか。

渡 部 農 政 課 長 その通りである。室内で自由に歩き回れるスペースを確保するなど、アニマルウェルフェアに配慮した乳牛の育成について、預託事業を行う民間事業者が研究を進めている。

岩 崎 委 員 アニマルウェルフェアという先駆的な表現を用いるのであれば、千葉市民や市外から来る方々への啓発活動にも含めて使用すると、より有意義かと思う。

望 月 委 員 農業支援について、千葉神社の門前町構想により通町公園がきれいに整備されているため、商工会議所でも、マルシェイベントや朝市などに活用できればと考えている。今後、協力できることがあれば一緒にやっていきたい。

渡 部 農 政 課 長 朝市を区役所等で実施する取組など行っており、今後も進めていきたいと思っている。コロナ禍でマルシェイベントが中止になったケースもあるが、感染症対応を図りつつ、少しずつ復活させていきたい。

鈴 木 部 会 長 ウィズコロナにおいて、感染症がなくなることはないかもしれないが、今後の取組に期待したい。

## 議題（２）総合戦略に係る 2020 年度の取組状況の報告

（事務局）2020 年度本市地方創生関連の取組みについて、資料 2-1、2-2 をもとに、説明を行った。

### <意見交換>

麻 畑 委 員 重点戦略 1・施策（１）・合同企業説明会の共同開催

中小企業を発展させていくためには、良い人材の採用が重要であると考えている。特に新卒採用は、中小企業にとってハードルが高く、どのように取り組んでよいか分からない企業もあるため、合同企業説明会の共同開催は良い取組であると思う。今回、オンライン開催したことで学生参加数が増えたことは良いことだが、実際に採用に至った人数を把握していれば教えてほしい。

濤岡課長	採用に至った人数は把握できていない。中小企業にとって採用が難しいということは承知しているため、参加していただいた方のフォローアップという面でも手立てを行っていききたいと思う。
麻畑委員	参加していただいた方の次のステップの推移を把握できると良いと思う。また、中小企業の中には、良い所がありながらも自社の強みが分からない企業も多数あるため、学生が関心を持っていた点や魅力の伝え方などのフォローまでできると良いと思う。開催することが目的ではなく、マッチングをして、適材適所で良い学生を中小企業の採用に結び付けることが目的であると思うので、ぜひフォローまでしていただきたい。
鈴木部会長	今はできないかもしれないが、アウトプットからアウトカムの KPI に代えることができるひとつかもしれない。
濤岡課長	KPI の変更も含めて今後検討していきたい。
村尾委員	<u>重点戦略2・施策（6）ダイバーシティ（多様性）と男女共同参画の推進</u> ダイバーシティと男女共同参画の推進の施策を見ると、障害者理解や地域日本語教育、パートナーシップ制度などが挙げられているが、KPI では、女性活躍や子育ての項目が多く挙げられている。ダイバーシティというと、若者などの多世代活躍、外国人の就労支援、LGBT などのテーマもあると思うが、施策と KPI の連携、KPI の対象とする範囲がいまひとつという印象がある。
堺部長	ダイバーシティや次期基本計画で議論しているインクルージョンという観点からも、確かに全体のバランスがやや歪な現状があると思う。捕捉できる数値を KPI として立てながら、並行して施策を進めてきた結果であると認識しているが、これから次期基本計画に接続するに当たっては、全体を俯瞰的に見ながらバランスを整えていきたい。
村尾委員	国や県でも、ダイバーシティは未来に向けたキーワードとなっているため、こうした議論をきっかけに、ダイバーシティによる活性化や人材育成が広がっていくと良いと思う。
鈴木部会長	次期総合計画ではバランスの取れた内容となっていることを期待している。
望月委員	<u>重点戦略2・施策（3）・商業者の創業支援</u> パルコ、三越が閉店したことで千葉駅の商業施設に人が集中している。中央公園周辺の商店街は、シャッターが下りている店も多いため、商業者の創業支援について、モデルケースのような形で商店街と組み、集中して進めることができれば良いと思う。
濤岡課長	中心市街地では色々なプロジェクトが動いている。先ほど通町公園の話が出たが、まちづくりの観点では、歩いて楽しいまちづくりを進めており、そちらとタイアップすること、また、例えば、中心部におけるイベント開催と商店街との連携などについても検討していきたい。
麻畑委員	創業支援について、チャレンジショップのような場所を用意し、短期間安い賃料でトライアルとして出店できる取組を進めてはどうか。また、そうした店舗を広報し、人を集めることで、近隣への良い影響もできると思うため、検討していただきたい。
岩崎委員	<u>重点戦略6・施策（1）都市アイデンティティの確立</u> 千葉市にアイデンティティがあると思う人の割合が上昇しているのは良いことだと思うが、教育委員会の事務点検の際に、それを下支えする加曽利貝塚やオオガハス、郷土博物館の取組に関する予算が十分ではないと知った。例えば、郷土博物館の取組はすぐに成果の出るものではないが、千葉市で育つ子供たちが、千葉氏の話やオオガハ

ス、加曽利貝塚といったものを学ぶことを大事にしなければいけないと思う。千葉市にアイデンティティがあると思う人の割合を本当の意味で増やしたいのであれば、歴史的なものにも配慮した予算措置をしていただきたい。

#### 重点戦略6・施策（3）「時間を返す」市民サービスの実現

電子申請サービスの手続数が増加しているのは良いことだが、今後行政のデジタル化が加速する中で、高齢者を中心としたデジタルディバイドの問題に対応していかなければならない。例えば、生涯学習センターなどの施設を利用して、高齢者向けのデジタルスキル講座を設けるなど、学習機会を提供することで、初めて電子申請サービスの増加が可能となる。最近では、ダイバーシティ、インクルージョン、エクイティという言葉が重要視されているが、エクイティの観点でも重要であると考え。電子申請サービスの手続数の増加と併せて、デジタルディバイドに対応した教育機会の提供を検討してもらいたい。

堀 部 長

予算措置の件は、どの項目で不十分か所管に確認してみないと詳細は分からないが、アイデンティティ関連でいうと、加曽利貝塚が国の特別史跡に指定され、新博物館を整備する流れになっている。そういう中で、直近の投資比重がそちらに傾いているのは事実かと思っているが、毎年度の予算の平準化を図りつつ、いかに充実できるかという視点で確認していきたい。

また、電子申請サービスに関して、デジタルディバイド対応は確かに重要な課題である。中長期的に見れば、現在の40～50代が高齢化していく中では、自然とリテラシーも上昇すると思われるが、直近でどう対応するかが課題として捉えている。次期基本計画策定の取組の中では、市民シンクタンクのワークショップを対面で実施できず、オンラインに切り替えたが、サポートすることにより、70～80代の方でもZoomによるやり取りができることを実感した。現在、総合政策局の未来都市戦略部では、スマートシティ推進ビジョンを作成しているところであり、デジタルディバイド対応の観点も含め、具体的な取組に反映していきたい。

神 崎 局 長

デジタルディバイドについて補足すると、電気通信事業者と連携し、今年度、市内で講習会を開催する予定であり、準備を進めているところである。また、市としても、電気通信事業者に頼るだけでなく、生涯学習センターや公民館などを活用し、市内で教えあう・支えあう仕組みについて今後検討することとしている。

#### 議題（3）千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の改訂について

（事務局）千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の改訂について、資料3-1、3-2をもとに、説明を行った。

##### <意見交換>

松 永 委 員

二点申し上げたい。

一点目は、2020年の転出入について、コロナの影響により東京都への転出が減り、周辺都市からの転入が増えている状況であり、一時的な動向であるか注視しているとのことであった。国勢調査の結果では、昨年10月時点の人口が、市の推計値を5千人ほど上回っていると思うが、どのように評価しているか。また、感染が収まれば、再び東京都への転出が増える可能性もあるが、一方で、千葉に移住して良さが分かり、三密回避やリモートワークにより、千葉に住む人が増える可能性もある。今後の移住政策や定住促進について現時点でどのように考えているか。二点目は、国の方で、地方創生SDGsの概念を入れなさいとのことだが、今回の改

訂を見ると、SDG s という言葉が全く出てこない。例えば SDG s に近い言葉として、令和元年台風を踏まえた気候変動リスク、コロナを踏まえた感染症リスクに対応した安全・安心なまちづくりなどの記載があるが、台風が来たから等ではなく、SDG s の観点から持続可能な社会を構築するために、環境対策を行うといった考え方が時代の流れではないかと思う。今回の改訂は、暫定的な戦略改訂のため仕方ない部分もあるかもしれないが、次期総合計画策定の際は、SDG s という概念の横串を刺したうえで、再構築していただきたい。

堺 部 長 まず SDG s に関しては、都市経営の方針Ⅲに、カーボンニュートラルも併せて SDG s の達成に向けた取組を推進すると記載しており、7つの重点戦略に横断的に被さる考え方としている。また、現在策定を進めている次期基本計画の中では、変化の認識として SDG s の項目を立て、戦略的視点という横断的な位置付けをしているところであり、具体的な実施計画策定の際にも活かしていきたいと考えている。

松 永 委 員 2050年カーボンニュートラルを見据え、SDG s の達成に向けた様々な取組を推進とあるが、SDG s は女性の活躍や教育水準の平等化・引上げなど多様な課題に対応して持続可能な社会を構築することであり、カーボンニュートラルはその手段の一部である。SDG s が前に来なければおかしいと思う。

堺 部 長 ご指摘のとおりである。経済、社会、環境の三側面に統合的に取り組んでいくことが SDG s の理念であり、脱炭素に関しては、国の打出しを踏まえ、繋げて記載してしまった部分もあるため、修正することを検討したい。

次に、人口動態を踏まえた今後の取組に関して、千葉市は都市機能が集積しているながら自然も多いという特徴があり、いざというときに東京に行くことができ、家の近くの自然に触れ合いながらリモートワークもできるといった地理的な優位性を持っていると考えている。そういった環境を充実させつつ、PRも行うことで、人口動態の変化を一過性のものとせず、継続した流れにしていきたい。

濤 岡 課 長 人口増加の評価について、国勢調査の速報値を6月に出したところであるが、人口は微増となっている。千葉市の中でも斑模様になっており、中央区・美浜区・緑区では増、残り三区は減となるなど、千葉市の中でもボーダーラインが表れてきているように感じる。その一方で、東京からの転入者が増えている状況もあり、先ほど申し上げた、何でも揃う魅力を打ち出すことによって、多くの人に住んでもらえるまちにしていきたい。

大 野 委 員 雇用対策協定に基づき、千葉市と事業計画を詰めていく中で、一人ひとりの個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、人を横串として高齢者や障害者、就職氷河期世代の支援に連携して取り組んでいるところである。また今後も内容について、一緒に検討を進めながら、戦略の改訂にも取り組んでいきたい。

麻 畑 委 員 千葉商圏が縮んできていることに対して、今後の施策で考えていることがあるか。  
濤 岡 課 長 商圏の縮小に関しては、木更津市のアウトレットなど他都市の商業施策の影響があり、印西市・柏市・木更津市が新たに商業中心都市に加わったことが、千葉商圏の縮小に繋がったと考えられる。千葉市の拠点性を高める取組が必要であると考えており、市原市や四街道市と連携した物産の販路拡大や都心の魅力向上といった取組を進めることで、千葉県内からの誘客を図っていきたい。

堺 部 長 商圏というと買い物のイメージがあるが、遊びに来ていただける要素も重要である。例えば、千葉駅周辺では、美術館のリニューアルを実施しており、文化的な

	楽しみも満喫できる中心市街地にしていきたいと考えている。そういうことも含めて、まちの活性化に取り組んでいきたい。
麻 畑 委 員	他都市の大型ショッピングセンターなどが充実することで、これまで千葉市に来ていただいていた方がそちらに集まっていると考えられる。このまま商圈の縮小が続くと、中小企業にとってはかなりの痛手になると思う。まちづくりは長いスパンで物事を考えなければならないと思うが、どのようにすれば人が集まるかという視点で、施策等を進めていただきたい。
岩 崎 委 員	オリンピック・パラリンピックレガシーの発展に関する記載について、千葉市ではロンドンを視察した際の報告などを公表しているため、外国の進んだ内容をもう少し入れても良いかと思う。
堺 部 長	視察に行き強く感じたことは、障害のある方もない方も一緒にパラスポーツを楽しんでいる様子が日本とは異なっていたということを知っている。千葉市ではパラスポーツに特に力を入れて取り組んできたところであり、そういった内容をしっかりと記述していきたい。
岩 崎 委 員	多様な団体との連携維持や学校における障害に配慮した教育の継続など、具体的なソフト面のレガシーをもう少し盛り込んだ方が、多様性やインクルージョンといった諸外国で必ず口にされる視点が入り込んで良いと思う。

#### 議題（４）その他

（事務局）令和３年度部会スケジュールについて、事務局より説明を行った。

特に意見なし。

—閉会—